



どんど焼き

NHK「ダーウィンが来た!」 ～生物多様性と豊かな生態系

1月21日の放送はご覧いただいたでしょうか？世界的にも珍しいムササビの出産シーンや、兄が子育てを協力するといった生物学上の新発見も放送されました。そして皆様にはショッキングであったかもしれませんが、ムササビの子がアオダイショウに襲われそうになるシーンもありましたね。「ダーウィンが来た!」は科学番組なので、できるだけ事象通りに、加えて興味深く視聴できるようにドラマチックに編集されます。一方で、昨年、年長さんに動画で紹介した際は「ムササビのお家には色々な動物さんが遊びに来るんだね！ヘビさんも来たね！ムササビ君は寝ているときに突然起こされてびっくりしているみたいだね」と、物語調の伝え方をしました。目を手で覆う職員とは異なり、子ども達はヘビとの出会いのシーンや、驚いてヘビを追い払うシーンも、「赤ちゃんがんばれ！逃げられて良かったね！赤ちゃんはどこ行っちゃったかな。探してみようよ！」などと、とても前向きに捉えていました。

大人の視点では、先ず怖さを感じ否定的な印象を持ちますが、虚構と現実を行き来する幼児にとっての「事実」は様々です。具体的な伝え方については副園長からも助言を受けましたが、伝え方次第で子どもが受ける印象の違いを改めて感じた場面でした。一方で、科学的思考も身についてきているので、観察や考察はより深く、持続的に行えるようになってきました。この両面がバランス良く育ち、児童期の発達に繋がっていきます。

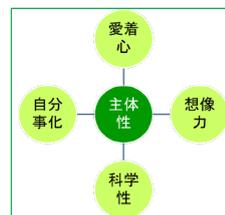
さらに、今回はムササビ以外にも様々な動物が登場しましたね。タヌキ、キツネ、ノウサギ、テン、アナグマなど、かつての里山では日常的に見られていましたが、昨今はなかなか出会いません。貴重な生き物が遊びに来てくれる環境を有り難く感じます。きっかけは、昨年の年長さんがてっぺん広場にあるフェンスの足下に見つけた「不自然な通り道」でした。「動物が掘ったような穴があるよ!」という子どもの発見から、カメラを設置すると、今回ご覧いただいた様々な動物達が、同じ穴から出入りしていることがわかったのです。子どもたちの観察力がいかに鋭いかを証明するものでした。

今後も子どもたちと「センス オブ ワンダー」を大切に、「ありのままの自然」を楽しんでまいります。

野生動物の観察活動が幼児に与える教育的効果

ムササビを初めとする野生動物との関わりを通して、年長を中心に多くの教育効果があることが分かってきました。担任によるエピソード記録を元に分析し、また、卒園生を対象に行ったアンケート調査の分析などによって、具体的に以下の効果が期待できることが分かりました。

- 自ら生き物や環境に主体的に関わろうとする姿（主体性）
- 生き物への愛着心（愛着心）
- 生き物を科学的に捉えようとする姿（科学性）
- 豊かな想像力と表現活動への発展（想像力・表現力）
- 事象を「自分事」として捉えようとする姿（自分事化）



また、「幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿」の中でも、以下の6項目について効果を顕著に示しています。

- ・健康な心と体
- ・自立心
- ・思考力の芽生え
- ・自然との関わり、生命尊重
- ・言葉による伝え合い
- ・豊かな感性と表現

これらの研究結果は、以下で発表しております（予定含む）。

- ・ESD-Net グローバル会合フィールド訪問
- ・日本生物教育学会大会
- ・ユネスコスクール全国大会
- ・全国学校・園庭ビオトープコンクール
- ・子どもの森づくりネットワーク全国研修会
- ・東京家政学院大学

こうして得られた知見は、本園の教育、また幼児教育の発展のために寄与していきたいと思っております。

もちつき会

日本の伝統行事でもある「もちつき」。幼稚園では昔から伝わる方法で、もちつきを行いました。お正月にお餅を食べることは普段食べないものを食べることで、気持ちを切り替えるという意味があります。また神様にお供えした野菜や餅をお雑煮にしてたべることで、「神様からパワーをいただく」という意味もあるそうです。幼稚園では無事に年を越せたことに感謝し、また素敵な1年になることを祈念してお餅つきを行いました。

※衛生管理上、餅は「体験用(つく用)」と「食用」に分けています。



正月遊び

1月から園庭に「正月遊びコーナー」を設け、周辺では子ども達が様々な遊びを楽しんでいます。こままわし、羽根つき、けん玉、竹とんぼ、だるま落としなど、気に入った遊びに夢中になっているようです。こま等は失敗を繰り返しながらも根気強く挑戦し、日々上達しています。是非ご家庭でもお父様やお母様と継続して楽しんでいただくとより上手に遊べるようになるでしょう！



生活発表会への取り組み

普段から絵本に親しみ、劇遊びを楽しみ、生活発表会に向け、子どもたちが主体的に関われるよう、装飾もできるだけ子どもたちと一緒に作っています。物語の世界に入り想像を膨らませながら、お友達や先生と意見を出し合い発表会に向け、期待を持って過ごしています。ホールでも徐々に発表を意識しながら劇に取り組んでいます。



年長 どんと焼き

年長さんの書き初めを幼稚園のお正月飾りや門松などと一緒にどんと焼きで燃やしました。森の広場のファイヤースペースにお炊き上げ用に組み、書き初めを入れマッチで点火！あっという間に天高く燃え上がりました。書き初めが燃える様子、煙が天に昇る様子を全員で見守り、穏やかに1年を送ることができようみんなで祈りました。そして、餅を篠竹に刺して火に炙って頂きました。どんと焼きには様々な意味があるとされています。歳神様が煙に乗って天に帰れますよう、字をうまく書けますよう、そして何より健康に暮らせますように。

